

茨城だより2 ー潮来あやめ園に行って来ましたー

並木ドリーム第12号でひたち海浜公園のネモフィラを紹介して以来の「茨城だより」です。先日、「水郷潮来あやめ園」(潮来市あやめ1-5)に行って来ました。現在、「第65回水郷潮来あやめまつり大会」の開催中(～6/26)であり、あやめが見頃を迎えていました(実際には花菖蒲(はなしょうぶ)です!)。「ろ舟遊覧」や潮来花嫁さんの「嫁入り舟」などのイベントもあり、園内は多くのお客様で賑わっていました。この「あやめまつり」は、1952(昭和27)年に始まった歴史あるまつりで、毎年約80万人を超える観光客が水郷情緒とあやめを堪能するために訪れているそうです。

写真を撮りながら、尾形光琳作の国宝「燕子花図屏風」(根津美術館蔵)を連想しました。ところで、「いずれあやめかかきつばた」という諺もあるように、「あやめ(菖蒲)」と「かきつばた(杜若・燕子花)」と「はなしょうぶ(花菖蒲)」の区別は難しいようです。植物学上では、すべてアヤメ科アヤメ属ですが、花びらの模様で区別が出来ます。

	あやめ(菖蒲)	かきつばた(杜若)	はなしょうぶ(花菖蒲)
花びらの特徴 花びらの付け根の部分の模様で区別可能です。	 (網目上の模様)	 (白い線の形の模様)	 (黄色い目の形の模様)
生育場所	畑のような乾燥地	水辺などの湿地帯	畑地でも湿地でも生育可
花の咲く時期	4月下旬～5月上旬	5月中旬～5月下旬	5月下旬～6月下旬

「水郷潮来あやめ園」の本年最高の見頃は、6月11日(土)～12日(日)になります。お出かけの際は、朝早くがお勧めです(24時間入場自由・入場無料、イベント情報はHPで)

